

第60回

# 長野県部落解放 研究集会

2023年

12月20日 水 10:00～15:10

会場 上田市・丸子文化会館 (セレスホール)  
上田市丸子1488

参加資料代 2,000円

支払・申込方法

実行委員会事務局（NPO法人人権センターながの）に申し込みください。

お支払いは当日の受付にてお願いします。

※実行委員会加盟団体はそれぞれの集約方法がありますので、所属団体にお問い合わせください。

時間	プログラム
9:00～	受付開始
10:00～10:25	開会行事 実行委員長あいさつ 来賓あいさつ、紹介
10:30～12:00	講演 「『全国部落調査復刻版』事件裁判の経過と今後の課題」 ～戸籍不正取得の新たな手口にもふれて～ 部落解放同盟中央執行副委員長 片岡 明幸さん
12:00～13:00	昼食 各自ご用意ください
13:00～13:30	報告 「教師たちの部落問題認識と実践を推進するために」 ～「連続 同和問題ミニ講座」を開講するにあたって～ 長野県教育委員会心の支援課指導主事 徳永 吉彦さん 南信教育事務所生涯学習課指導主事 南波 秀治さん
13:40～15:00	講演 「手探りで考え続けること—共感をもって伝えるために」 信濃毎日新聞 お茶の水女子大学大学院博士前期課程 河原 千春さん
15:00～15:10	閉会行事

お願い ■発熱・咳・咽頭痛など体調不良の場合は参加をお控えください。

■飲食は決められたスペースでお願いいたします。

# 知る

## 「『全国部落調査復刻版』事件裁判の経過と今後の課題」 ～戸籍不正取得の新たな手口にもふれて～

部落解放同盟中央執行副委員長 片岡 明幸さん

東京地裁への提訴から7年以上。全国の被差別部落の所在地情報など一覧や、「部落解放同盟関係人物一覧」と称する個人情報一覧の電子データをインターネット上に公表し続けていた鳥取ループ・示現舎に対する『全国部落調査』復刻版事件裁判で、2023年6月28日、東京高裁は一審原告の主張を大幅に認める画期的な判決を言い渡した。その判決内容は①差別されない権利、②差し止め範囲の拡大、③プライバシー権の修正、④救済対象の拡大、⑤部落差別の現状と深刻さの事実認定である。講演ではこれらとともにインターネット上における差別情報を踏まえた各地での取り組みや、特にインターネット上における「差別禁止法（条例）」の制定など、今後の方向について現状と課題を提起する。

また、「栃木県行政書士戸籍等不正取得事件」（2021年8月発覚）で、長野県でも9市村15件が取得されていたことが2023年に判明。この行政書士は、2017年ごろから3,500回にわたり戸籍情報を不正に請求し、探偵会社・調査会社などに戸籍情報を提供し、兵庫県警の推計では7,000万円以上の収入を得ていたという。2021年8月4日、兵庫県警に戸籍法違反などの疑いで逮捕され、略式裁判で罰金刑（100万円）に処された。

警察が押収していたこの行政書士の職務上請求書が日本行政書士会連合会に返還され、部落解放同盟中央本部の要請により「連合会」が都府県別にまとめた。それによると、2018年1月26日から2021年4月23日までに、全国で2542枚の職務上請求書が出されていたことが分かった。

戸籍謄本等の不正取得の重大性と本人通知制度の意義を再確認し、本人通知制度を導入していない自治体は、導入に向けた取り組みなど行う必要性についてもふれる。

# 伝える

## 「教師たちの部落問題認識と 実践を推進するために」

～「連続 同和問題ミニ講座」を  
開講するにあたって～

長野県教育委員会心の支援課指導主事  
徳永 吉彦さん  
南信教育事務所生涯学習課指導主事  
南波 秀治さん

長野県教育委員会では、「学校人権教育実施状況調査」で明らかになった若年教員が抱える「部落問題を扱うことへの不安」をどうサポートするか考え、2022年度からオンデマンド配信による「同和問題ミニ講座」の準備を開始しました。しかし、「不安をサポートする」ために講座内容を考える過程で、私たちが気づいたことは、部落問題に関わる有識者の方々からいただいた「観」の転換でした。

この講座ができるまでの経緯や、過程について、受講した皆さんの感想等を含め報告します。

# 確かめる

## 「手探りで考え続けること—共感を持って伝えるために」

信濃毎日新聞／お茶の水女子大学大学院博士前期課程  
河原千春さん

2007年に信濃毎日新聞に入社した私が、本格的に部落問題の取材を始めたのは記者12年目の2018年だった。きっかけは、佐久市望月出身の女性史研究家・思想家のもろさわようこさん。部落問題がライフワークであるもろさわさんの生涯と思想に迫る連載取材で、もろさわさんと志でつながる被差別部落出身の女性たちと出会った。部落問題は既に解決している一。私はそう思っていた。しかし、ある女性とのやりとりを通じて、自分が問題を知らなかっただけで、これまで素通りしていたことに気付く。取材すると決めてからは、迷いと手探りの連続だ。私が部落問題について初めて書いたといえる2019年4月17日付『信濃毎日新聞』のもろさわさんの連載記事で、部落問題についての発言をこう紹介した。

「部落の人たちが味わってきた痛みを心と体で分かっていた自分が見えて、基本的人権（の尊重）を知識で説いても、生き得ていない自分に気付いた」

「偏見に基づく差別意識が生活文化の中で培われてきましたから、今までの自分を解体しなければ向き合えない。部落の問題はあらゆる差別をなくす原点になると、私は思っています」

差別をしていないと思っていた自分が、無知によって問題を無視し、差別する側にいたため、問題に出合わなかったことを突きつけられた。もろさわさんにとってそうであるように、私にとっても部落問題はあらゆる差別をなくし、人権を尊重するための基本に据えるものとなる。

そして…。それから…。

主催 長野県部落解放研究会実行委員会

（構成団体） 長野県企業人権教育推進連絡協議会 長野県同和問題企業連絡会 「同和問題」にとりくむ長野県宗教団連絡協議会 部落解放長野県民共闘会議 世界人権宣言長野県実行委員会 部落解放・人権政策確立要求長野県実行委員会 上田市 上田市教育委員会 部落解放同盟長野県連合会

後援 長野県 長野県教育委員会 長野県同和教育推進協議会 信濃教育会（財）信州農村開発史研究所、長野県部落史調査委員会 在日本朝鮮人総聯合会長野県本部 NPO法人わっく自立福祉会 部落解放に関する「条例」制定市町村連絡協議会 長野県隣保館連絡協議会 長野県市長会 長野県町村会 長野県市議会議員会 長野県町村議会議員会 長野県仏教会 長野県平和人権環境労働組合協議会 日本労働組合総連合会長野県連合会 長野県社会福祉協議会 長野県民生児童委員協議会連合会 女性会議長野県本部 長野県農業協同組合中央会 長野県PTA連合会 長野県公民館運営協議会 長野県小学校長会 長野県中学校長会 長野県高等学校長会 長野県特別支援学校校長会 長野県中小企業団体中央会 長野県商工会議所連合会 長野県商工会連合会 信濃毎日新聞社 中日新聞社 読売新聞長野支局 毎日新聞長野支局 朝日新聞長野支局 共同通信社長野支局 時事通信社長野支局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 長野朝日放送 NHK長野放送局 長野エフエム放送 FMぜんこうじ

問い合わせ先

長野県部落解放研究会実行委員会 事務局

長野市若里1-19-5 長野市中央隣保館内（NPO法人人権センターながの）

TEL026-225-5045 FAX026-227-0212

E-MAIL [jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp](mailto:jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp) URL <http://jinkennagano.com/>